

豊能町総合まちづくり計画審議会（第8回）議事概要

日 時：令和4年1月25日（火）午後14時00分～15時20分

場 所：豊能町役場2階 大会議室

出席者：委員13名、事務局3名

傍聴者：6名

1. 《議事》総合まちづくり計画（案）パブリック・コメントの実施結果について

（1）以下の事項について事務局より説明があった。

①パブリック・コメント実施結果（資料1）

（2）主な質疑、意見

〔会 長〕 No.1 ダイオキシン問題の意見に対し、豊能郡環境施設組合において取り組む課題と回答しているが、組合を指導するのは町であり、基本的には町が考えていくべき。回答の仕方自体に誠意が足りず熱意も感じない。行政に対する不信感を招きかねないと思う。

（事務局）計画に対するご意見という観点からはこのような考え方となるが、今のご指摘も踏まえ回答の仕方を検討する。

〔副会長〕 組合には能勢町も含まれるとのことだが、ダイオキシン問題については2町で協力し取り組んでいくということを書いてはどうか。また、基本指針3の中に「安全・安心なまち」とあるので、この辺りに方向性として入れ込むことも可能かもしれない。

（事務局）センシティブな部分がある。現状としては組合が対応しているが、当然町も関わっていかねばならない重要な課題だと認識しているので、考え方のところについてはもう少し検討させていただきたいと思う。

〔委 員〕 豊能町と能勢町で共同運営している組合ということを明記してはどうか。

（事務局）そうさせていただきます。

〔委 員〕 No. 53 に対する回答の仕方が冷淡な感じだ。No. 66 に3点ほど質問があるが、それに対する回答がないのが気になる。

（事務局） No. 53 についてはもう少し丁寧に回答したいと思う。No. 66 についてはご意見のとおりで、もう一度精査させていただく。

[会 長] No. 53 の回答は言葉の使い方がまずい。「決定しているものではありません」というのはそのとおりだが冷たい感じだ。「決定に向けて今後検討を進めていく予定です」などのようにすれば冷淡なイメージはなくなると思う。No. 6・8 ではまちの将来像についてのイメージがわきにくいというような意見が出ているが、それに対しまともに答えていない。このことは今後も問いかげられると思うので、誠実な回答を考えておくべきだ。

(事務局) もう一度精査させていただく。

[委 員] 今後下位計画も策定されると思うが、その際にこの総合まちづくり計画に携わった我々や意見を出した町民の気持ちを伝えてほしい。

(事務局) パブリック・コメントの実施結果も全庁で共有する。下位計画に何らかの形で活かしていきたいと思っている。

[会 長] 計画策定に真摯に取り組んできた委員にとっては非常に関心が高いことなので、是非ともよろしく願いたい。

2. 《議事》豊能町総合まちづくり計画（答申案）について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①答申書（案）（資料2）

②豊能町総合まちづくり計画（答申案）（資料3）

(2) 主な質疑、意見

[会 長] 答申書の2点目にある横断的な取組みというのは具体的にどのようなことを考えているのか。

(事務局) 今後人口減少が加速化しそれに伴い財政状況も悪化していくことを見据えた場合、1つの施策を1つの課で行うのではなく複合的に取り組んでいくべきではないかという議論があった。その意味で横断的な取組みと記述した。

[会 長] それならば、「縦割りの行政ではなく」を「行政の縦割りではなく」にするほうがしっかりと意味が伝わると思う。

[委 員] 例えば道路についての問題が起これば住民は建設課に言うと思うが、その場合、建設課のみの対応で終わる。何かあった際、民間であれば皆で情報を共有し対応を考えるが、役場は担当課だけで止まってしまう。民間的な考え方も取り入れ、出てきた課題を町全体として検討してほしいと思う。

(事務局) ご指摘のとおり、担当課だけではなく関連課と情報や課題を共有し横断的に

取り組んでいく。

〔委員〕5点目「財政の健全化に重点を置いた」では言葉足らずではないかと思うので「財政の健全化及び人材育成に重点を置いた」にしてはどうか。

〔委員〕「財政の健全化を維持し人材育成に重点を置いた」のほうがよいのではないか。財政の健全化に重点を置くというのは違うような気がする。

〔会長〕財政の健全化というのは大事だがそれが目的ではない。だから「財政の健全化に十分配慮し」などにするほうが文章としてより適切だと思う。

〔会長〕3点目の「アフターコロナを見据えて新たな発想と柔軟な対応で」というのは、どのようなことを考えているのか。

〔事務局〕社会情勢が10年前とは大きく変わり働く場所が多様化していることもあるので、豊能町に仕事と人を呼び込めるような施策を推進していくという趣旨で書かせていただいた。

〔委員〕1点目に「本計画の趣旨や内容を分かりやすい形で町民に周知されたい」とあるが、この総合まちづくり計画自体を知らない町民が結構多いのではないかと思う。この計画の存在を知ってもらうためにどういうことを考えているのか。

〔事務局〕総合まちづくり計画は町民と行政が協働しながら豊能町の未来に向かって進んでいくバイブルのようなものと捉えている。概要版も作成するので、それで住民の皆様に周知できればと思う。

〔会長〕町民を対象とした計画についての説明会は開かないのか。概要版は各戸配布かどうか知りたい。

〔事務局〕説明会については今のところ開催予定はない。概要版も各戸配布までは考えていない。

〔副会長〕1点目と4点目は統括する方が良いかもしれない。また、3点目はなお書きであるため最後にすべき。1点目に周知と町民との協働、2点目にこれまでの縦割りではない横断的な取組み、3点目に財政を考慮すること並びに人材育成、最後に新型コロナウイルスに関するなお書き、この流れでいくほうがメッセージとして通じやすいと思う。

〔委員〕答申書及び答申案に令和4年と書いてあるが、西暦も併記した方がよいのではないか。

〔事務局〕ご意見として承る。

〔委員〕答申案77ページに「住民は自分の身の回りで取り組めることから取り組ん

でみます」とあるが、まだそのレベルではない。具体的な落とし込み案を作る段階から住民と協働で行う必要があり勝手に走り出してはならないような気がする。

(事務局) そのためにも計画のめざすべきところを町民と共有していくことが大事だと考えている。

[委員] 各計画は個別に策定されるが、住民からすれば各々の計画が自分たちの生活に関わるわけだ。その辺りもう少し練らなくてはだめだという気がする。77ページでは住民は自分の身の回りで取り組めることから取り組んでいける状態になると言っているのか。

(事務局) 各施策に行政と住民が協働で取り組むことが大前提で、目標を達成するため住民に何ができるかというところを計画に盛り込んでいる。もちろん住民全員ができるわけではないが、できるところから取り組んでいただくということにより目標に近づくのではないかと考えている。

[委員] 答申案は全体的に住民という表記なのに、なぜ答申書には町民と書いてあるのか。統一すべきだと思う。概要版も昔は全戸配布していたが今は財政状況が厳しいためできなくなった。カラー印刷で経費がかかるからだが、住民への周知という意味では白黒でかまわないので部数を増やし全戸配布するほうが良いと思う。

(事務局) 住民と町民の表記分けについては意図したものではない。住民という表記に統一させていただく。概要版についてもチラシのような形式にし、広報とともに全戸配布する方向で検討したい。

[会長] 答申書についていろいろなご意見が出たのでこの場で承認することは難しいと思うが、事務局としてはどうか。

(事務局) 本日頂戴したご意見を踏まえ一部修正し後日送付、会長にご確認いただいたうえで答申という形にさせていただきたいと思う。

3. その他

[会長] 審議会は本日をもって終了となる。最後に一言お話しさせていただきたい。世界中が未来を危惧しているという傾向にあり、日本では将来がないと言いつける若い人が多い。将来ビジョンがほとんど見えずしっかりと語られていないからだ。豊能町の将来ビジョンについては、ここで議論した内容が非常に

大きな意味を持っている。もう少し考えてほしいと私がたびたび申し上げたのは本当に悩んで考えていかなければ若い人に応えられる計画にならないからだ。委員の皆さんに悩んでいただくほど、ある意味よい計画ができる。しっかりとした文言と内容、そして愛情ある表現で伝える必要がある。この総合計画の実現を心より願う。長い間ありがとう。

4. 閉会

(1) 午後3時20分に閉会した。

本議事録にかかる会長の内容確認・署名

本議事録について議事内容と相違ないことを確認する。

豊能町総合まちづくり計画審議会会長

会長署名
